



おうみはちまん

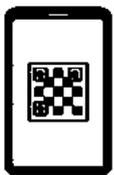
議会だより

2019
(令和元年)
第39号
5月1日発行

編集：広報広聴委員会 発行：近江八幡市議会（年4回発行） 〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236 TEL 0748 (36) 5528 FAX 0748 (36) 7101
ホームページアドレス <http://www.city.omihachiman.shiga.jp/> / Eメール 020200@city.omihachiman.lg.jp



【第10回議会報告会】
2019年1月19日 ひまわり館



二次元バーコード（代表質問・個人質問ページ）で本会議での質問の様子をご覧ください

今号の主な内容

- 3月定例会の概要 2
- 代表質問・個人質問 2～10
- 各委員会審査報告 11～12
- 委員会活動報告・視察報告・議会報告会 13～14
- 提出議案と審議結果一覧 15～16

3月定例会の概要

平成31年第1回（3月）市議会定例会を2月19日から3月22日までの32日間の会期で開きました。

2月19日の開会日には、2月15日付で議員辞職された重田剛議員の辞職報告を行い、続いて、議長報告、監査報告、市長報告の後、市長提出議案として「専決処分承認を求めることについて」平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）をはじめとする補正予算案件12件、「平成31年度近江八幡市一般会計予算」をはじめとする新年度予算案件11件、条例の制定や一部改正案件21件、その他案件3件の合計47議案が上程されました。

その後、再開された2月28日には、追加議案として「平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）」が上程され、議員提案として「生活保護基準引き下げ中止を求める意見書の提出を求める請願」および「子ども医療費助成制度を県の制度で中学卒業まで拡充を求める意見書の提出を求める請願」の2件を上程しました。また、同日お

よび3月4日に代表質問を、3月6日から3月8日に個人質問を行いました。代表質問では5会派から、個人質問では12名の議員から新年度に向けた市政方針や市政全般に対する質問を行いました。

その後、各常任委員会に議案が付託され、後日開催した各常任委員会で、当局から議案に対する詳細な説明を求め、議員間で討論、審査を行いました。

3月22日の閉会日には、各常任委員会から審査報告を行い、討論・採決の結果、当局から提案された議案全てを可決し、議員提案の請願2件については不採択としました。また同日、市長提出の追加提案として人事案件1件、その他案件1件が上程され、上程された議案のうち、その他案件が総務常任委員会に付託され、本会議での審査報告の後、採決を行いました。また、議員提案として条例1件、意見書4件を上程し、全会一致で可決しました。

代表質問



創政会

市長の市政運営の方針、

まちづくりについて

北川 誠次



問 今定例会は、小西市長にとって就任1年目の総括であり、新年度に向けてのスタートになります。

新年度に向けた市長の市政運営の方針、まちづくりについて所信をお聞かせください。

答 市長

「市民が主役」を市政の基本として、市民のみなさまの社会活動などをサポートできる市役所、また、笑顔で楽しく暮らし、未来に希望がもてるハートフルなまちを目指し推進してまいりました。

一人ひとりが、自分の持っている特性や、能力、やりたいことを発揮でき、いきいきと活躍できている市民がどれだけおられるか、それがまちづくりであると考えます。

このことを常に念頭におきながら、平成31年度の市政を運営する上で、4つ基本方針を示させていただきます。①「政策の実質を追求します」。②「政策目

的を問います」。③「笑顔を持って市政にあたります」。④「あこがれ」、「こうなればいい」、「おもしろい」を求めます。以上により、活力ある地域づくりを実現し「憧れをもってもらえるまち近江八幡」を目指します。



【その他の質疑・質問】

- ① 新庁舎建設問題について
- ② 竹町都市公園整備事業について
- ③ 河川整備について（日野川・蛇砂川河川改修）
- ④ 安土学区の一体整備について
- ⑤ 農業問題について
- ⑥ 中小零細企業対策について
- ⑦ あかこんパスについて

など

代表質問



近江湖誠会

都市計画マスタープランと
立地適正化計画について

田中 好



問 新年度予算に都市計画マスタープランの見直しおよび立地適正化計画の策定に係る予算と債務負担行為が計上されていません。しかし、国土利用計画の見直し作業が完了していない現時点において、都市計画マスタープランの見直しに着手される理由および策定時期について伺います。

答 市長 都市計画マスタープランの改訂は、国土利用計画の見直しにより示される土地利用の方針を、段階的に整理しながら整合でき、高い利点があり、2019、2020年度の2カ年に亘り改訂します。

また、立地適正化計画は、国土交通省が新たに創出、制度化

した計画であり、人口減少等の大きな社会情勢の変化に対応し、今後長きに亘り持続可能な都市経営の実現を目的に策定するもので、都市全体を見渡し詳細かつ具体的な方針を定めるものであることから、都市計画マスタープランを補完する性格を有しています。



【近江八幡市都市計画マスタープランにおける都市の将来構造図】

【その他の質疑・質問】

- ①平成31年度市長の市政運営の基本方針について
- ②平成31年度予算関連について
- ③総合計画について
- ④市長公約と就任10ヶ月が過ぎた行政運営について
- ⑤国政・幼保無償化の閣議決定に伴う本市の取り組みについて
- ⑥GCUの取り組みの推移・現状について

代表質問



政翔会

新年度予算における
地域経済活性化施策について

奥田 孝司



問 新年度の当初予算は小西市長が昨年4月に就任されてから最初の当初予算として提案されました。この新年度予算の目的別歳出内訳では、商工費が0.5%、農林水産業費が2.7%となっております。

答 市長 まず、農業の独自施策としては、先進的農業者づくり塾を実施しており、安定的な農業経営基盤の強化を目指すとともに、担い手や団体等が育成され、また、農産物の高付加価値化により、魅力と活気に満ち溢れ、儲かる産業となればと考えており

ます。

次に、商工振興施策については、八幡商人育成事業など新規創業者につながる支援を実施し、さらに商工業振興ビジョンの策定を検討しながら、市内商工業者の支援体制も含めた施策の充実に図ってまいりたいと考えております。今後も様々な施策を展開し、本市全体の地域経済活性化と循環率向上に繋がるよう、継続した施策を展開してまいります。



【その他の質疑・質問】

- ①近江八幡市第1次総合計画について
- ②災害に強い近江八幡市を作るために
- ③健康増進について
- ④近江八幡市総合医療センターの今年度の取り組みについて

代表質問



日本共産党

井上 佐由利

公立桐原幼稚園の活用と
老蘇こども園の拡充について



問 本市の待機児童解消は喫緊の課題であり、昨年10月の待機児童数は129人です。前市長は、公立幼稚園を廃止し、民間子ども園に移行する方針が進められてきましたが、桐原東こども園の整備は進んでいません。現在の桐原幼稚園の建物を活用し、公立桐原こども園に切り替えるべきと考えますが、当局の考えを伺います。

答 市長

築40年が経過した桐原幼稚園を今後でも使用するのであれば長寿命化工事が必要であり、こども園化には調理室や保育室も必要となります。桐原こども園は新築、桐原東こども園は改修となれば保護者の納得は厳しく、園児が通う中での改修や仮設、新築工事は子どもの安全や教育環境の課題が大きく、現地でのこども園化は難しいと考えます。また公募で決定された設置運営法人が事業着手している事から、

市が方針変換をすると、損害賠償請求されても不思議ではなく慎重な判断が必要です。議会議決を経た学区全体の課題として、学区民のご理解ご協力のもと、引き続き2021年4月の民間認定こども園の開園をめざします。



【桐原幼稚園】

【その他の質疑・質問】

- ① 新年度市政運営の基本方針、新年度予算について
- ② 県予算の影響について
- ③ 学童保育所の委託料、処遇改善について
- ④ スポーツ少年団の助成と高齢者の施設利用減免制度について
- ⑤ 三種の園・住倉安土元気園について
- ⑥ 国民健康保険料について
- ⑦ 虚弱、要支援1・2の高齢者調査について

代表質問



チームはちまん

竹尾 耕児

八幡堀の浚渫(しゅんせつ)について



問 八幡堀とその周辺環境は近江八幡市になくはない観光の中心地であると考えています。また、八幡堀の景観は市民運動や学区民の皆さんによって保たれています。美しい景観を維持するにはかなりの労力を必要としますが、堀の浚渫は長期に渡り実施できておらず、市の予算は見合っているとは思えません。この八幡堀の浚渫についてどのように考えておられるのか歴史街づくりの観点からお聞かせください。

答 市長

滋賀県において、八幡堀は治水上、あまり問題がなく、浸水、洪水被害が発生する日野川、蛇砂川の改修が優先されている現状があります。しかしながら、八幡堀は伝統的建造物群保存地区に指定されていること等から、文化面に加え、観光面、環境面からも浚渫は必要と考えており、今後も地元市民団体とともに継

続して要望していきます。また、本市では歴史風致維持向上計画の策定を進めることとしており、県とも協議を行い、一日も早く美しい八幡堀を取り戻してまいりたいと考えております。



【八幡堀】

※浚渫(しゅんせつ)：水底をさらって土砂などを取り除くこと。

【その他の質疑・質問】

- ① 生徒指導のあり方について
- ② 公共施設管理計画について

個人質問



近江湖誠会

西津善樹

外国語翻訳機について



問 本市の外国人総人口は37万7千人で1,369人です。今後さらにグローバル化が進む中、外国人対応をする職員配置には限りがあることから、簡易なコミュニケーションツールとしてAI翻訳機を導入してはと考えます。また、観光看板もわかりませんが、本市は観光客に対する受け入れ体制が不十分ではないかと感じています。

答 そこで、外国人観光客へのおもてなし精神の強化の意味も含め、この外国語翻訳機の活用を検討されてはと考えますが、当局の考えをお示しください。

総合政策部長

訪日外国人旅行者（インバウンド）の受入環境整備として、（一社）近江八幡観光物産協会により運営されている近江八幡駅北口、安土駅、白雲館内の3カ所の観光案内所に、多言語音声翻訳アプリを搭載したタブレット端末を同協会が設置し新年度か

ら運用予定です。これにより、各観光案内所を日本政府観光局（JNTO）認定の「認定外国人観光案内所」のパートナー施設として申請します。この認定により、外国人観光客向け情報サイトに掲載されることとなり、インバウンド誘客や利便性が向上するものと考えております。



【その他の質疑・質問】

- ① 合併10周年に向けての取り組みについて
- ② 新庁舎建設に係る第三者検証委員会について
- ③ 地域ハード整備事業や地元要望について
- ④ あかこんバスの高齢者対応について

個人質問



創政会

岡田彦士

「安土城」復元の模索について



問 知事は、年頭の記者会見で「安土城復元について、公のお金をかけることだけが財源捻出の方法ではない」と述べられ、民間との連携を模索する方針を示されました。また、地元の安土町では、2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」で主人公となる明智光秀をめぐり、信長公が築いた安土城に注目が集まるとして、推進協議会が発足されました。

答 市長は、県や地元と連携を図り、この歴史遺産である安土城をテーマとして活用され、本市をどのように活性化しようとするのか伺います。

総合政策部長

県は、次年度から「幻の安土城」復元プロジェクトとして「安土城跡調査再整理と課題発見」、「屏風調査者からの情報収集」、「関連資料調査の方法検討」のほか、観光PR推進、講座開催、映像記録作成を行い、その後、復元

の方向性や手法を決定し、市、関係団体および民間等との協議を進めていくと聞いています。本市では特別史跡安土城跡を保存・活用するため、所有者および国、県との意見交換を進めており、高い石垣を見せる方法や本市作成のVR映像による復元、ガイドンスでの安土城説明等の充実を行うなど魅力発信に取り組んでいきます。



【特別史跡安土城跡】

【その他の質疑・質問】

- ① 高齢者対策について
- ② 安土学区の拠点整備について
- ③ 特別史跡安土城跡の指定地の一部 藤兵衛浜について

個人質問



公明党

総合計画とSDGsの取り組み、
ESDGの取り組みについて

池上知世



問 近江八幡市第1次総合計画において、全市あげてSDGsの取り組みを推進していくとされています。このSDGsの取り組みの方針および考えを伺います。

答 また、SDGsの17の目標のうち、目標4に掲げられている「質の高い教育をみんなに」ですが、ESDは持続可能な社会の担い手を育む教育であり、このSDGsの取り組みとESDの関係をどのように考え、取り組みを考えているのか伺います。

市長、教育長

本市では、平成29年2月に自治体としてSDGsに取り組みことを決定し、SDGsの目標達成に向けた取り組みを推進しています。総合計画においても、将来のまちの姿や基本目標の実現に向け、基本姿勢に「持続可能なまちづくり」を位置づけ、SDGsの推進・啓発を図ってまいります。

また、教育はSDGs全ての目標の基礎であり、ESDを推進することはSDGsの達成につながります。本市小中学校では、総合的な学習の時間を中心にESDの取り組みとなる課題解決学習を行っており、SDGsを見据えたESDを今後も推進したいと考えます。



【その他の質疑・質問】

- ①市庁舎問題について
- ②赤ちゃんの駅について
- ③空き家対策について
- ④放課後児童クラブについて
- ⑤コミュニティのまちづくりと健康近江八幡について
- ⑥障がい者手帳のカード化について
- ⑦学校のエアコン設置(体育館)について

個人質問



チームはちまん

生業・交流のいえ条例の
制定について

山本英夫



問 本条例は、旧吉田邸を活用し、新たな生業の創出支援や多世代および他分野の人々の交流促進等を目的として制定されました。そこで、現状の旧吉田邸の利用実態はどのようなものか、チャレンジショップ等の利用の成果等、ご説明をお願いします。また、これからのこの施設の活用、地域経済活性化の一助となる取り組みについてお伺いします。

答 本市の商業振興、商店街の隆盛のため、官民一体となって力を合わせ、八幡商人の故郷として誇りの持てる充実した商工業施策を取っていただきますよう要望します。

産業経済部長

平成30年度においては、商工会議所によるチャレンジショップや高校生の販売実習の場としての利用があり、チャレンジショップでは、4名の方が出店されました。

チャレンジショップをはじめ、利用を促進させていくことで、新たな交流を生み出し、その交流から新たな生業が生まれていくこと、また、本施設だけでなく市内に波及していきけるように努めてまいります。また、その他まちづくりや市の魅力向上に繋がる様々な取り組みを試験的に実施していく場としての活用を考えています。



【おうみはちまん生業・交流のいえ(旧吉田邸)】

【その他の質疑・質問】

- ①安土城復元について
- ②癌の検診、治療について

個人質問



創政会

教育行政、

通学区域の
弾力化について

小西 励



問 大規模校である金田小学校について、近江八幡駅北口マンションが建設され、児童数の増加が見込まれることから、前市長時代に島小学校へのバス通学を実施し、金田小学校の児童数が増加とならないような対策を考えるべきとの発言もあったと思います。

答 この金田小学校対策について、市長が代わられ、どのような通学区域の弾力化議論が行われているのかお教えください。

答 教育部長

近江八幡市通学区域審議会より、各学区の伝統的な「まとまり」や「つながり」といった学区意識を尊重し、通学区域を見直すことなく、教室の転用等、当該学校内での対応が望ましいとの答申をいただきました。また、大規模校から中規模校等への弾力化制度の拡大についても附帯意見としていただきました。このようなことから、2月教育委

員会定例会において、金田小学校区の対策として八幡小学校および桐原東小学校への通学を可能とする弾力化制度の見直し案を協議し、3月教育委員会定例会において要綱の改正について審議する予定です。



【その他の質疑・質問】

①働き方改革について

個人質問



近江湖誠会

西の湖周辺整備について

橋 博



問 西の湖は四季折々の風情があり、有形無形の潜在的な能力を秘めています。西の湖を安土と八幡で結ぶ「(仮称)西の湖水道」と位置づけ、水郷めぐりと西の湖めぐりが相互に行き交う水運として活用できないかと考えます。また、JR安土駅から数分歩けば、常浜まで行くことができます。この常浜は室町時代の観音寺城の外港であり、港町として栄えた場所です。

答 総合政策部長
そこで、西の湖水道の一端として、行政と民間が一体となり、常浜港再生に向けた取り組みができないものか伺います。

現在、西の湖での水郷めぐりなどは人気であり、これを常浜までを視野に入れた水運の復活、観光ルートを整備につなげるべく民間事業者との協議を行い試行について検討をしていきます。また、湖上の障害物の除去、航路の設定、船着き場整備の法的

な課題を県と協議します。常浜は、これまでも歴史的な価値を損なわないよう整備してきましたが、今後は文化財保存活用地域計画策定業務の中で、計画策定の協議会や市民のご意見を聞いて検討を行います。また検討会等で活用や必要な調整等を進めていきます。



【常浜】

【その他の質疑・質問】

①水道施設の耐震化について

②健康ふれあい公園の運営について

個人質問



創政会

安土町地域自治区
地域協議会について

岡山かよ子



問 近江八幡市と安土町の合併時に、合併による行政規模の拡大により、安土地域がより一層住みやすい地域として発展するための一翼を担う機関として、安土町地域自治区地域協議会が設立され、10年間の期間限定として設置されました。

設置から10年を迎えようとしている現在、10年間の地域協議会の実績および今後の考え方について伺います。

答 安土町総合支所長

地域協議会は、市町合併による不安感等を取り除き、地域住民と市政を繋ぐ総合審議機関として合併協定項目の調整、諮問に対する意見具申、区域内に関わる事業の審議などに取り組みできました。合併協定項目の調整は、平成29年度末に全て完了し、諮問や区域内に関わる事業についても、住みやすい地域となるよう市政に思いを伝えてきました。今後の地域自治のあり

方として、「学区まちづくり協議会」が地域特性を活かした自治機能を担い、より良い地域となるよう総合支所と共に地域運営の中心として行っていけるものと考えております。



個人質問



日本共産党

平成31年度当初予算について

加藤昌宏



問 平成31年度一般会計当初予算案の規模は、323億6千万円です。前年度の366億1,760万円と比べて、約42億5,700万円の大減少です。本市は合併以降、年々予算規模は増加し、250億円規模から昨年度には360億円台まで増加しました。合併から8年間で実に100億円以上の膨大な増加です。小西市政でこの増額の流れが、減少の方向に変わりました。今回、減額となった事情について、市民にも分かるように説明をお願いします。

答 総務部長

平成31年度当初予算の減少は、前年度と比較して、市庁舎整備事業の見直しや岡山コミュニティエリア整備事業、安土駅周辺整備事業の完了等により投資的経費が47億2,697万1千円減少したことが主要因です。また、予算総額の47.9%を占める義務的経費のうち、扶助費は前

年度から7億1,700万円増で、合併時（平成22年度）の56億2,814万3千円と比べ1.5倍の84億6,715万4千円に膨らみ、予算規模が年々増加傾向にある主要因ともなっています。予算総額は、義務的経費の動向から増加傾向にあります。単年度の投資的経費の増減に大きく影響を受けるものと考えています。



【その他の質疑・質問】

- ① 近江八幡市第1次総合計画の策定について
- ② 水道事業運営委員会と公共下水道審議会について
- ③ 市庁舎整備工事検証委員会終了後の違約金交渉について
- ④ 近江八幡市の公文書管理確立と条例化について

個人質問



日本共産党

川崎益弘

地域経済活性化住宅リフォーム助成制度について



問 政府の統計では、経済状況は良くなったと言いますが、現実には年金は引き下げられ、給与も上がっているとは言えず、市民の中の経済状況は悪いままです。市民の多くの方は住宅リフォーム助成制度を待ち望んでおられます。一方、市内業者の皆さんの中に多くの仕事があるとは言えません。この住宅リフォーム助成制度は市内業者に限定した仕事の発注であり、また、経済の市内循環に繋がると考えますが、良いことづくめのこの事業を新年度はなぜ行わないのか説明を求めます。

答 産業経済部長

本事業は平成21年度より実施し、これまで長年にわたり、地元建設業者を中心とした事業者に対する経済活性化の施策として取り組んでまいりました。平成27年度には、地方創生先行型交付金を活用し、リフォームの需要が高いとされる築15年以上

の住宅（平成12年以前建築の住宅）にお住いの方の1割の方が取り組まれることを事業目標として設定し、その結果、今年度までの事業実績において一定の成果が得られたと判断致しております。今後につきましては、経済情勢を見極めながら事業の復活、再構築について考えてまいります。



【その他の質疑・質問】

- ① 岡山紫雲こども未来園、紫雲保育園分園、岡山幼稚園について
- ② 湖東幹線道路計画について
- ③ 日野川河川敷内の雑木伐採撤去について
- ④ 日野川改修に伴う防災道路計画について

個人質問



創政会

片岡信博

近江八幡・安土連絡道路（武佐老蘇線）について

問 近江八幡市と安土町の合併効果促進のため、武佐学区と老蘇学区を結ぶ連絡道路整備が実施されています。

国道8号の渋滞を避ける自動車や、国道421号へ向かう自動車や旧中山道や末広町地先を頻繁に通行し、高齢者、児童、自転車で通行されている方にとっては危険な状況にあります。

答 市長
この武佐老蘇連絡道路の整備内容と現在の状況、今後の整備方針および完成時期について伺います。

武佐老蘇線武佐西生来工区は、既に暫定供用済みの長光寺武佐線から県道小脇西生来線間の延長約1,100m、車道2車線に片側歩道を設けた幅員12.5mの道路を計画しています。平成29年度は道路予備設計を実施し、平成30年度は地元自治会に對しまして、道路法線、幅員構成について説明し、概ね承諾を得ら

れたことから、現在、道路測量詳細設計、蛇砂川橋梁設計に係る土質調査を進めています。平成31年度は用地測量、蛇砂川橋梁詳細設計を実施し、平成32年度は用地買収、順調に進めば平成33年度に工事着手する予定です。



【武佐老蘇線】

【その他の質疑・質問】

- ① 金田小学校の定員について
- ② 改良住宅（2戸1）の譲渡推進について

個人質問



政翔会

シティプロモーション
事業について

辻 正隆



問 シティプロモーションは地域の活力を維持・増進し持続的な発展を目指し、交流人口や定住人口の拡大を図るために全国の自治体が力を入れています。このシティプロモーションは、地方自治体が行う「宣伝・広報・営業活動」であり、地域のイメージ向上やブランドの確立、地域経済活性化などを目指した取り組みです。同時に市民にもっと地元を知っていただき、生まれ育った土地への愛情を持っていたくことも大事であると考えますが、現時点でのシティプロモーションの考えと構想についてお聞きします。

答 市長

本市でのシティプロモーション事業は、新年度が初めてであり、まずは最大の強みである観光プロモーションを軸に取り組みます。本市の観光は「暮らしと文化を観る」ことであり、まちの魅力を見直し、ふるさとへ

の誇りと愛着をもって住み続けていくこともシティプロモーションの大事な土壌です。市民の皆様にも積極的に我がまちをPRしていただきたいと思います。今後は、首都圏においても本市の認知度向上を図るプロモーションを行っていきます。また、観光以外の分野でも長期的な取り組み方を検討します。



【新町通り】

【その他の質疑・質問】

- ①豚コレラについて
- ②近江八幡市の国土強靱化について
- ③オリンピック・パラリンピック教育の推進について

個人質問



新政会

近江八幡市第1次総合計画
について

西居 勉



問 新市合併後、ようやく近江八幡市第1次総合計画が策定されました。ひも解くと、2011年5月の地方自治法改正により、市町村への基本構想の策定義務付けが撤廃されましたが、これは、義務として作らなくてよいとするのではなく、「どのような行政組織や地域経営の仕組みを創るのかを念頭に総合計画のあり方を自ら設定することを市は問われている」とされています。今回策定された総合計画は、本市をどのように捉え、どのようなことに留意された計画なのか伺います。

答 市長

少子高齢・人口減少社会の到来による様々な課題に対応するためには、行政だけでなく多様な主体との連携体制を構築しつつ、人材を育成することが求められています。

本市固有の資源を活かし、活力ある地域をつくり、次の世代

が地域に愛着と誇りをもち引継いでいけるようなまちであることを願い「人がつながり 未来をつむぐ 「ふるさと近江八幡」を「将来のまちの姿」としました。また「持続可能なまちづくり」を基本姿勢とし、基本目標にSDGsの17の目標を位置づけ、各種施策に取り組みこととし、各施策が進展していくよう努めてまいります。



予算常任委員会審査報告

委員長 小西 励

予算常任委員会は3月11日から14日に委員会を開催し、今定例会に上程された一般会計補正予算および新年度一般会計予算について各部署より詳細な説明を求め審査を行いました。

- 議第1号 「専決処分承認を求めることについて」
平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）
- 議第2号 「平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第7号）」
- 議第13号 「平成31年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）」
- 議第48号 「平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）」

新年度予算は、小西市政最初の当初予算として行政の永続性の観点から持続可能な体質実現のため、財政健全化への取り組みに対応した予算とされました。また、市庁舎整備の見直しやこれまで継続的に進めてきた重点事業の事業完了に伴い、建設事業費が約47億円減少（対前年度比△63.4%）となり、予算総額が323億6千万円となるものでした。

この新年度の主な事業として、市の魅力に向けたシティプロモーションの実施、歴史的風致維持向上計画に向けた文化財保存活用計画等の策定、新市庁舎整備に向けた基本計画策定業務、子ども医療費助成制度（通院窓口無料化）の大幅な拡充（児童手当受給基準）等、多岐にわたるものでした。

なお、審査過程において、新年度予算は全体として子育て支援に重点配分した予算であり、市長が言う未来への投資、種まきであるので、評価できるとの意見がありました。



全委員が慎重に審査をした結果、全議案とも全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

総務常任委員会審査報告

委員長 岡田 彦士

当委員会に付託された案件について、3月15日および22日に委員会を開催し、当局に対する議案質疑等を行い審査しました。

- 3月15日審査案件（12議案）
 - ・文化会館事業特別会計予算関係（2件、議第7・18号）
 - ・病院事業会計予算関係（2件、議第12・23号）
 - ・条例関係（7件、議第25・26・27・41・42・43・46号）
 - ・その他議案関係（1件、議第44号） 近江八幡市第一次総合計画を策定することにつき議決を求めることについて
- 3月22日審査案件（1議案）
 - ・その他議案関係（1件、議第49号） 市有財産を譲渡することにつき議決を求めることについて

以上、全13議案について採決をした結果、全ての議案を全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

なお、審査における主な意見として、病院事業会計予算において、難病指定患者の受け入れにかかる高額な薬品費等について、病院経営上の影響が懸念されること、また、近江八幡市第一次総合計画を策定することにつき議決を求めることについては、今後の人口減少が見込まれる中、本市においては、新規住民が新しい宅地造成地へ転入することが予想される。一方、旧市街地域の高齢化と空洞化の進行が懸念され、更には、三十年後には市の人口が約一万人減少する推計であるため、市全体として真剣に考えていかなければならない、などの意見が出されました。



教育厚生常任委員会審査報告

副委員長 山本 英夫

教育厚生常任委員会は、3月18日に委員会を開き、平成30年度特別会計補正予算議案5件、平成31年度特別会計予算議案5件、条例関連議案10件請願2件の計22件について、当局に対し、詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

議案審査の中での委員の主な意見として、議第16号については、虚弱の人、要支援1・2の方の居場所づくりが大事であり、市全域でアンケートを取り、何で困っておられるのかをしっかりと市が把握すべきであるとの意見があり、議第31号については、待機児童問題がある中、緊急避難的にも馬淵幼稚園の通年の預かり保育を継続した上で、一時的な預かり保育の回数を増やしていくべきと考えるので反対であるとの意見がありました。

各議案を慎重に審査した結果、まず、平成30年度特別会計補正予算議案、議第3号・議第4号・議第5号・議第6号・議第8号については、全員賛成で、原案を可決すべきものと決しました。

次に、平成31年度特別会計予算議案、議第14号・議第15号・議第17号の3件は、全員賛成で原案を可決すべきものと決し、議第16号・議第19号の2件は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

次に、条例関連議案、議第28号・議第29号・議第32号・議第33号・議第34号・議第35号・議第36号・議第37号・議第38号の以上9件は、全員賛成で原案を可決すべきものと決し、議第31号は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

なお、請願第1号・請願第2号の2件は、賛成少数で原案を不採択すべきものと決しました。



産業建設常任委員会審査報告

委員長 奥田 孝司

産業建設常任委員会は3月19日に委員会を開催し、3月定例会に上程された議案を所管する都市整備部、産業経済部、市民部および水道事業所に関係する予算関係議案、条例関係議案、その他議案について、当局に詳細な説明を求め審査を行いました。

○予算関係議案

「平成30年度近江八幡市大中の湖地区基幹水利施設管理事業特別会計補正予算（第1号）」ほか5件

○条例関係議案

「近江八幡市おうみはちまん生業・交流のいえ条例の制定について」ほか3件

○その他議案

「市道路線の認定につき議決を求めることについて」ほか1件
なお、議案審査における委員の主な意見として、産業経済部が所管する「議第24号 近江八幡市おうみはちまん生業・交流のいえ条例の制定について」では、本施設を有効活用し、起業を目指される方の助となることを期待するが、施設を訪れる方の駐車スペースについて、今後も検討してほしいとの意見がありました。

水道事業所の審査では、公共下水道の下水管は、整備された以降、相当年数経過している箇所もあるので、その対応をいかなければならない。また、災害時等を勘案すると、浄化槽は比較的影響が小さく、早期の復旧が見込めるといふ利点もあるので、この浄化槽も、今後、整備等を行うなかで検討してほしいとの意見がありました。

いずれの議案も慎重に審査を行い、全議案とも全員賛成で可決すべきものと決しました。



市庁舎整備等特別委員会活動報告 委員長 橋 博

当特別委員会は、平成30年度に委員会を計5回開催し、第1回目を5月17日に、第2回目を6月8日に、第3回目は10月26日に開催し、市庁舎整備に係る経過および今後のスケジュール、今年度の市庁舎整備に関連した取り組みおよび市庁舎整備工事の清算について説明を受けました。第4回目は11月27日に開催し前回開催以降の経過報告および市庁舎整備に係るスケジュールについて、第5回目は1月9日に開催し、市庁舎整備工事の清算・検証委員会、新庁舎整備基本計画に向けた基礎調査業務、現庁舎耐震診断および簡易駐車場の整備について説明を受け、委員会開催時には、各委員から活発な質疑を行い、委員間で議論や討論を行ってきました。

市庁舎整備については、平成18年の耐震診断の結果を踏まえ、以来10年以上の歳月をかけ検討・議論が重ねられ、市庁舎整備工事請負契約の締結後、新庁舎整備工事が進められてきました。そのような状況下で昨年4月に行われた市長選挙において当選された小西市長は、民意による政策の変更として請負契約を解除され、検証委員会の設置が決まり、この委員会は3回開催されました。

今後、検証委員会による損害賠償に対する考え方を踏まえ、株式会社奥村組と具体的な解決方法について話し合いを進めていくことになりませんが、円満な解決に向け誠意を持って交渉を行い、早期に損害賠償額を確定され、本市の将来像を見据えつつ財政運営への影響も精査し、市民の安心・安全や行政機能の確保を総合的に判断しながら、新庁舎整備事業が迅速かつ円滑に実施されるよう要望しました。



公共施設等検討特別委員会活動報告 委員長 井上 芳夫

当委員会は、平成29年第1回（4月）市議会臨時会において、近江八幡市公共施設等総合管理計画の実施計画となる個別施設計画の策定の取り組みなどを検討するため設置されました。

今年度、平成30年12月21日に当委員会を開催し、平成29年3月に策定された近江八幡市公共施設等総合管理計画に基づき、市が所有する施設を対象に、各公共施設にかかるコストと利用状況の両面から各施設の課題を抽出した上で、質と量の最適配置や長寿命化を図る公共施設マネジメントを推し進めるため、個々の施設の具体的な方向性を示した個別施設計画（案）および今後のスケジュールについて、当局に説明を求め、その内容について質疑・議論を行いました。

また、平成31年3月22日に委員会を開催し、平成31年3月策定の近江八幡市個別施設計画（第1期）について当局より報告を受け、その内容について質疑を行いました。

各施設の方向性については、市庁舎整備工事の契約解除に伴い、直接的、間接的に影響を受ける施設等もあることから、見直し、再検討を行われました。加えて、耐震性や建物点検の結果を方向性検討の資料として追加記載したものとなっており、施設に関連する市民・利用者・関係団体等に対して、十分な説明と合意形成を図るとともに、今後、策定予定の市庁舎整備基本計画と連携を図りながら、公共施設等の最適な配置を実現する持続可能なまちづくりに向け、取り組みられることを提言しました。



広報広聴委員会は、2月5日に、「議会だよりの編集」および「市民窓口におけるAI翻訳機の導入検証」について甲賀市へ視察を行いました。

まず、議会だよりの編集について、甲賀市議会では、議会だよりの編集を担当する広報特別委員会の委員が表紙写真の撮影や取材を行い、市民に分かり易く伝えることを意識して日々見直しを行っているとのことでした。その結果、平成29年に開催された、第30回近畿市町村広報紙コンクールにおいて、優良賞を受賞されました。甲賀市議会の議会だよりは、全ページをカラー印刷にされ、特集記事や用語解説など、できる限り分かり易く親しみのある紙面づくりに注力されていきました。本市の議会だよりにおいても、より読み易く分かり易い内容となるよう、本委員会で協議および検討を重ねていきたいと考えております。

次に、市民窓口におけるAI翻訳機の導入検証は、外国人市民の増加に伴い（甲賀市における市内外国人総人口は3,075人・38カ国）窓口への来庁者も増加し、今後一層の外国人市民の増加が想定される中、外国人対応をすすめる職員の配置には限りがあることから、平成30年12月11日から平成31年3月20日を実証期間として導入されていきました。この翻訳機は74言語に対応しており、導入経費も安く、月ごとに効果や課題を取りまとめ、本格導入に向けて検証していくとのことでした。この取り組みについて、本市においても、窓口対応に限らず、外国人観光客への対応や他の活用方法も含めて、あらゆる角度から検討してまいりたいと思います。



議会報告会を開催しました

平成31年1月19日に総合福祉センターひまわり館において第10回議会報告会を開催しました。今回の議会報告会には、36名の市民の方にご参加いただき、第1部では総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会から今年度の活動報告を行い、第2部では意見交換会を行いました。この意見交換会は、総務常任委員会では「新庁舎建設について」、教育厚生常任委員会では「市民の健康づくりについて」、産業建設常任委員会では「地域防災について」のテーマのもと、ご参加いただいた市民の皆様から忌憚のないご意見をいただきました。



開催後のアンケートでは、「委員会活動の報告は参加者が関心を持てる内容のほうがよい」、「意見交換の時間が短かった」などの意見や、「ご参加の皆さんの貴重な意見を聞くことができ、勉強になった」、「市民と議会の距離がさらに近くなるよう、工夫や努力を期待します」などの意見をいただきました。

今後も皆様とともに市政発展に向け、地域課題について意見交換を行い、議会としての役割を果たすべく取り組んでまいります。



平成31年第1回（3月）近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案・意見書等

議案番号	件名	会派 議決結果	創政会					政翔会				近江湖誠会				①	②	③	④				
			井上芳夫	岡山かよ子	岡田彦士	小西 励	片岡信博	北川誠次	辻 正隆	奥田孝司	園田新一	井狩光男	西津善樹	中田幸雄	田中 好博	橋 崎益弘	川 藤昌宏	加 藤昌宏	井上佐由利	竹尾耕児	山本英夫	平井侑治	西 居 勉
◇ 予 算																							
議第16号	平成31年度近江八幡市介護保険事業特別会計予算 (保険事業勘定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号	平成31年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 条 例																							
議第31号	近江八幡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の 制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 請 願																							
請願第1号	生活保護基準引き下げ中止を求める意見書の提出を 求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×
請願第2号	子どもの医療費助成制度を県の制度で中学卒業まで 拡充を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×

○…賛成 ×…反対 ☆…棄権 —…議長は採決に加わっていません。

①：日本共産党 ②：チームはちまん ③：新政会 ④：公明党

全員一致で承認・可決・同意した議案

◇ 専 決	
議第1号	専決処分承認を求めることについて 平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）
◇ 予 算	
議第2号	平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第7号）
議第3号	平成30年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議第4号	平成30年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計補正予算（第1号）
議第5号	平成30年度近江八幡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
議第6号	平成30年度近江八幡市介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第1号）
議第7号	平成30年度近江八幡市文化会館事業特別会計補正予算（第1号）
議第8号	平成30年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議第9号	平成30年度近江八幡市大中の湖地区基幹水利施設管理事業特別会計補正予算（第1号）
議第10号	平成30年度近江八幡市水道事業会計補正予算（第2号）
議第11号	平成30年度近江八幡市下水道事業会計補正予算（第1号）
議第12号	平成30年度近江八幡市病院事業会計補正予算（第2号）
議第13号	平成31年度近江八幡市一般会計予算
議第14号	平成31年度近江八幡市国民健康保険特別会計予算
議第15号	平成31年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計予算
議第17号	平成31年度近江八幡市介護保険事業特別会計予算（サービス事業勘定）
議第18号	平成31年度近江八幡市文化会館事業特別会計予算
議第20号	平成31年度近江八幡市大中の湖地区基幹水利施設管理事業特別会計予算
議第21号	平成31年度近江八幡市水道事業会計予算
議第22号	平成31年度近江八幡市下水道事業会計予算
議第23号	平成31年度近江八幡市病院事業会計予算
議第48号	平成30年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）

全員一致で承認・可決・同意した議案	
◇ 条 例	
議第24号	近江八幡市おうみはちまん生業・交流のいえ条例の制定について
議第25号	近江八幡市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第26号	近江八幡市職員等駐車場使用料条例の一部を改正する条例の制定について
議第27号	近江八幡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第28号	近江八幡市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第29号	近江八幡市使用料条例の一部を改正する条例の制定について
議第30号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議第32号	近江八幡市重要文化財旧西川家住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議第33号	近江八幡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第34号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議第35号	近江八幡市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
議第36号	近江八幡市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第37号	近江八幡市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議第38号	近江八幡市都市公園のうち有料施設の属する都市公園の管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第39号	近江八幡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第40号	近江八幡市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議第41号	近江八幡市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議第42号	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議第43号	農業災害補償法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議第46号	近江八幡市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について
◇ 人 事	
議第50号	常楽寺財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて
◇ そ の 他	
議第44号	近江八幡市第1次総合計画を策定することにつき議決を求めることについて
議第45号	市道路線の認定につき議決を求めることについて
議第47号	市有財産を譲渡することにつき議決を求めることについて
議第49号	市有財産を譲渡することにつき議決を求めることについて
◇ 議員提出議案（条例・意見書）	
会第1号	近江八幡市議会議員政治倫理条例の制定について
会第2号	豚コレラ対策の強化を求める意見書の提出について
会第3号	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書の提出について
会第4号	妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書の提出について
会第5号	放課後児童クラブの質の確保を求める意見書の提出について

【お知らせ】

6月市議会定例会の日程は、詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせさせていただきます。

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せ下さい。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236

Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp

FAX：0748-36-7101



●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷